

令和6年度

# 特色ある事業

相生市

### 令和6年度 相生市の特色ある事業

分野	区分	事業名等	事業費(千円)	担当課	ページ
教育 (7事業)	定	市立幼稚園3歳児保育事業	14,206	管 理 課	1
	定	市立幼稚園預かり保育事業	8,940	管 理 課	2
		市立小・中学校通学費補助事業	611	管 理 課	3
	ふ・定	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	105,515	学 校 教 育 課	4
	新	(仮称)教育支援センター設置事業	563	学 校 教 育 課	5
	定	ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	24,396	学 生 校 教 育 課	6
	定	相生っ子学び塾事業	2,894	生 涯 学 習 課	7
子育て支援 (6事業)	定	こども医療費助成事業	67,470	市 民 課	8
	ふ	新 市立幼稚園・保育所ICT化推進事業	2,473	子 育 て 元 気 課	9
		新 子育て世帯訪問支援事業	4,901	子 育 て 元 気 課	10
		新 1か月児健康診査費補助事業	828	子 育 て 元 気 課	11
	定	妊活カップル応援事業	3,000	子 育 て 元 気 課	12
	ふ	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	5,412	子 育 て 元 気 課	13
安全・安心 (8事業)		新 相生市防災リーダー育成補助金交付事業	120	危 機 管 理 課	14
		防災備蓄整備事業	1,600	危 機 管 理 課	15
	ふ	地域防犯設備設置事業	1,600	危 機 管 理 課	16
		新 地域乗合タクシー(ふれあい号)事業	5,000	地 域 振 興 課	17
		新 スズメバチ駆除補助事業	300	環 境 課	18
	ふ	シニアスマホ教室事業	406	長 寿 福 祉 室	19
		高齢者補聴器購入助成事業	1,300	長 寿 福 祉 室	20
		新 内水浸水想定区域図作成事業	7,000	下 水 道 課	21
相生の元気 (3事業)	定	あつまれ新婚さん新生活応援金支給事業	24,000	定 住 促 進 室	22
	定	住宅取得奨励金交付事業	11,000	定 住 促 進 室	23
	ふ	あいおい暮らしお試し移住事業	3,084	定 住 促 進 室	24
SDGs関係 (4事業)		SDGs啓発事業	665	企 画 広 報 課	25
	ふ	新 フードバンク事業	2,000	地 域 振 興 課	26
	ふ	新 食品ロス持ち帰りボックス配布事業	649	環 境 課	27
		新 バイオマスごみ袋普及事業	34,799	環 境 課	28
その他 (7事業)		公式LINE・AIチャットボット事業	2,112	企 画 広 報 課	29
		新 タクシー利用促進事業	425	地 域 振 興 課	30
		新 帯状疱疹ワクチン接種助成事業	4,304	子 育 て 元 気 課	31
		相生スマートIC(仮称)調査事業	41,000	都 市 整 備 課	32
		鳥獣被害防護柵機能強化支援事業(拡充)	2,166	農 林 水 産 課	33
	ふ	羅漢の里施設整備事業	25,000	農 林 水 産 課	34
		新 パラスポーツフェスAIOI事業	200	体 育 振 興 課	35
合計(35事業)			409,939		

区分の「ふ」は、ふるさと応援基金事業、「定」は、定住施策、「新」は、新規事業

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園3歳児保育事業	担当課	管理課
区分	新規・ <u>継続</u> ・ <u>定住</u> ・ふるさと	担当者	立巳
事業の必要性	<p>幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であるため、3歳児より基本的な生活習慣を身につけることを目的に実施する。</p>		
事業の内容	<p>当市では、3歳児の幼稚園教育を県下で最も早く導入し、幼児の豊かな心の育成、基本的な生活習慣の形成、道徳性・規範意識の醸成などを柱として教育活動を行っている。</p> <p>市立幼稚園全園で実施し、保育時間は10月までが午前保育、11月からが午後2時までとなっている。</p> <p>園児が20人を超える場合には、パート補助教諭1名の追加配置により実施している。</p>		
事業費	14,206千円		
事業費の内訳	<p>人件費 9,119千円</p> <p>工事請負費 1,000千円（幼稚園施設整備事業費）</p> <p>需用費等 4,087千円（幼稚園管理事業費）</p>		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 14,206千円	
実施時期 （工期）	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

## 令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園預かり保育事業	担当課	管理課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">定住</span> ・ふるさと	担当者	立巳
事業の必要性	<p>平成19年6月に学校教育法が改正され、幼稚園の役割として子育て支援が位置づけられている。</p> <p>幼稚園教育の機会拡充及び子育て支援の拡充により、保護者の子育てに関する不安の解消やストレスの緩和と幼児の健やかな成長を支援する。</p>		
事業の内容	<p>市立幼稚園の保育時間終了後、希望する園児に延長して保育を行う。</p> <p>預かり保育時間は通常保育終了後から午後5時まで。夏休みなどの長期休業期間などは実施しない。</p> <p>預かり保育料は無料（2号認定者は国の無償化制度、1号認定者は市の減免制度）とし、市立幼稚園全園で実施する。</p> <p>なお、定員は各園35人。対象者は、実施する幼稚園に通う4歳児又は5歳児。</p>		
事業費	8,940千円		
事業費の内訳	<p>人件費 8,377千円（パート指導員）</p> <p>需用費 563千円（消耗品費、燃料費）</p>		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>国補助金 1,666千円</p> <p>県補助金 1,666千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p style="text-align: center;">5,608千円</p>	
実施時期 （工期）	令和6年4月 ～ 令和7年3月		
備考			

## 令和 6 年度当初予算特色ある事業

事業名	市立小・中学校通学費補助事業	担当課	管理課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ふるさと	担当者	立巳
事業の必要性	市立小中学校に通学する児童及び生徒の保護者に対して、通学に要する経費の負担軽減を図り、学校教育の充実と子育て支援を目的とする。		
事業の内容	通学距離が 3 km 以上でバスを利用する小学生及び通学距離が 5 km 以上でバスを利用する中学生に対し、バスの通学定期券の購入に係る経費の全額を補助する。		
事業費	6 1 1 千円		
事業費の内訳	通学費等補助金    3 2 6 千円（小学校費） 2 8 5 千円（中学校費）		
財源の内訳	（特定財源）  —	（一般財源）  6 1 1 千円	
実施時期 （工期）	令和 6 年 4 月 ～ 令和 7 年 3 月		
備考			

## 令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	担当課	学校教育課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">定住</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">ふるさと</span>	担当者	高田
事業の必要性	<p>豊富な献立メニューと栄養バランスのとれた学校給食の給食費を無料化することにより、教育の充実に資するとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援することを目的とする。</p> <p>平成23年4月より事業を開始し、令和6年度についても継続して実施する。</p>		
事業の内容	<p>対 象 市内に住所を有する市立幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の保護者 特別支援学校に通学する市内に住所を有する児童・生徒の保護者</p> <p>助成額 保護者が負担すべき学校給食費の額の全額</p>		
事業費	105,515千円		
事業費の内訳	補助金 105,515千円（学校給食費助成金）		
財源の内訳	（特定財源）  繰入金 34,500千円	（一般財源）  71,015千円	
実施時期 （工期）	令和6年4月 ～ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	(仮称) 教育支援センター設置事業	担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	高田
事業の必要性	いじめ等の問題行動や不登校に関する相談、支援体制の充実を図るため、(仮称) 相生市教育支援センターを設置し、様々な専門性を有する相談員等が連携して学校等への多面的な支援を行う。		
事業の内容	<p>1 センターに「コスモス教室」「育成支援室」「教育研修室」を置き、教育支援体制を拡充するとともに、学校からの要請に即時対応するため「学校サポートチーム」を編成し、下記の支援等を行う。</p> <p>(1) いじめ等の問題行動に関する相談と支援  (2) 不登校に関する相談と支援  (3) 学級経営や生徒指導等に関する相談と支援  (4) 児童生徒等の理解に係る支援（教員への研修会等の実施）  (5) 児童生徒の家庭環境に関する相談と支援  (6) 学校の巡回相談</p> <p>2 「コスモス教室」に通う生徒等の学びを確保するため、学習指導員を配置し、個に応じた指導を行う。</p>		
事業費	563千円		
事業費の内訳	<p>コスモス教室に通う生徒等の学びを確保するための費用</p> <p>報償費 489千円（学習指導員等謝礼）  旅費 74千円（学習指導員等旅費）</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源)	563千円
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	担当課	学校教育課・生涯学習課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">定住</span> ・ふるさと	担当者	高田・野間
事業の必要性	子ども達がグローバル社会の中でたくましく生きる力を身に付けていけるよう、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じ、ひとつながりで体系的な取組みを行い、実践型の生きた英語を習得する環境づくりを目指す。		
事業の内容	(学校教育課) 幼稚園及び小学校への専属FLTの配置  (生涯学習課) 相生っ子学び塾 (英語)		
事業費	24,396千円		
事業費の内訳	専属FLT配置 委託料 23,154千円 (外国語指導助手派遣委託料)  相生っ子学び塾 (英語) 報償費 963千円 (講師等謝礼) 需用費 230千円 (消耗品費) 役務費 49千円 (保険料)		
財源の内訳	(特定財源)  諸収入 34千円	(一般財源)  24,362千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	相生っ子学び塾事業	担当課	生涯学習課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">定住</span> ・ふるさと	担当者	野間
事業の必要性	相生市の将来を担う子どもたちの生きる力を養うために、基礎学力の定着と自学の姿勢を身に付けさせる必要があるため、実施する。		
事業の内容	<p>対象者：市内小学校5、6年生（珠算のみ4、5、6年生）</p> <p>講座：国語・算数、英語、珠算</p> <p>場所：放課後各小学校（国語・算数、英語） 文化会館（英語、珠算）</p> <p>時間：国語・算数 45分×27回 英語（学校）45分×10回 英語（文化会館）60分×22回 珠算 60分×28回</p> <p>講座内容：ワークによる自学自習を通して苦手意識を克服する (国語・算数、英語(学校)) 英語のリスニングやスピーキングに親しむ（英語(文化会館)） 計算の基本である珠算（暗算含む）を習得する（珠算）</p> <p>講師：教員免許及び指導経験を有する人、指導に関心のある人</p>		
事業費	2,894千円		
事業費の内訳	<p>報償費 1,514千円（講師等謝礼）</p> <p>需用費 461千円（消耗品費）</p> <p>役務費 99千円（保険料外）</p> <p>報酬 820千円（学び塾コーディネーター）</p>		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>県補助金 899千円</p> <p>諸収入 70千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p>1,925千円</p>	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考	※英語講座に係る事業費は、「ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業」に記載		

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	こども医療費助成事業	担当課	市民課																		
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">定住</span> ・ふるさと	担当者	小林																		
事業の必要性	こどもに係る医療費の自己負担分を助成することにより、子育て世代の経済的負担を緩和し、安心して子育てができる環境をつくる。																				
事業の内容	<p>こどもに係る医療費の自己負担分を助成し、無料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：小学4年から高校3年までの児童・生徒等 (高校に通っていない場合もある。)</li> <li>・対象医療：入院及び通院医療</li> <li>・助成内容：医療保険における自己負担分の助成 (高額医療費は除く)</li> <li>・所得制限：市民税所得割23.5万円未満</li> <li>・助成方法：現物給付(受給者証を交付)及び償還払(現金給付)</li> </ul>																				
事業費	67,470千円																				
事業費の内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">旅費</td> <td style="width: 15%;">2千円</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>115千円</td> <td>(消耗品費、印刷製本費)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,628千円</td> <td>(通信運搬費、手数料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>194千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>262千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>65,269千円</td> <td>(こども医療費)</td> </tr> </table>			旅費	2千円		需用費	115千円	(消耗品費、印刷製本費)	役務費	1,628千円	(通信運搬費、手数料)	委託料	194千円		補助金	262千円		扶助費	65,269千円	(こども医療費)
旅費	2千円																				
需用費	115千円	(消耗品費、印刷製本費)																			
役務費	1,628千円	(通信運搬費、手数料)																			
委託料	194千円																				
補助金	262千円																				
扶助費	65,269千円	(こども医療費)																			
財源の内訳	(特定財源)  県補助金 8,163千円	(一般財源)  59,307千円																			
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月																				
備考																					

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園・保育所ICT化推進事業		担当課	子育て元気課・管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	富田・立巳
事業の必要性	市立幼稚園及び保育所を利用する保護者の利便性向上と職員の業務負担の軽減を図るため、業務支援システムの導入等により業務のICT化を推進し、働きやすい環境を整備する。			
事業の内容	市立幼稚園及び保育所において、業務支援システムを導入し、幼稚園・保育所からの緊急連絡やお知らせの配信、保護者からの欠席連絡等をアプリ上で行う。加えて保育所では、端末とWi-Fi環境を整備する。			
事業費	2,473千円			
事業費の内訳	委託料 1,890千円 (無線LAN環境整備事業委託) 使用料及び賃借料 583千円 (システム利用料)			
財源の内訳	(特定財源)		(一般財源)	
	国補助金 945千円 繰入金 1,400千円		128千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月			
備考				

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	子育て世帯訪問支援事業		担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	富田
事業の必要性	<p>家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦等がある家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とする。</p>			
事業の内容	<p>対象家庭を訪問し、①又は②を基本に家庭の状況に応じて以下内容を実施する。</p> <p>① 家事支援（食事の準備、洗濯、掃除、買い物の代行やサポート、等）</p> <p>② 育児支援（育児のサポート、保育所等の送迎、宿題の見守り、外出時の補助、等）</p> <p>③ 子育て等に関する不安や悩みの傾聴、相談・助言。（保護者に寄り添い、エンパワメントするためのアドバイス等。なお、保健師等の専門職による対応が必要な専門的な内容は除く。）</p> <p>④ 地域の母子保健施策・子育て支援施策等に関する情報提供</p> <p>⑤ 支援対象者や児童の状況・養育環境の把握、市への報告</p>			
事業費	4,901千円			
事業費の内訳	<p>委託料：4,901千円 （子育て世帯訪問支援事業委託）</p>			
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>国補助金 1,633千円 県補助金 1,633千円</p>		<p>（一般財源）</p> <p>1,635千円</p>	
実施時期 （工期）	令和6年4月～令和7年3月			
備考				

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	1か月児健康診査費補助事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	小柳
事業の必要性	母子保健法により「1歳6か月児」及び「3歳児」に対する健康診査の実施が義務付けられている中で、1か月児の健康診査の費用の一部を助成することで、出産直後から切れ目のない健康診査の実施体制を整備する。		
事業の内容	乳児1人につき1か月児健康診査費を上限4,000円として助成する。		
事業費	828千円		
事業費の内訳	需用費：28千円 扶助費：800千円		
財源の内訳	(特定財源)  国補助金 400千円	(一般財源)  428千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	妊活カップル応援事業		担当課	子育て元気課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・ <span style="border: 1px solid black;">定住</span> ・ふるさと		担当者	小柳
事業の必要性	<p>保険適用となった特定不妊治療の自己負担は、高額療養費制度を適用しても比較的高額となる。また、治療にあたっては、適齢年齢があることや、心身的負担も大きいことなどから、治療を躊躇している夫婦に対し、安心して治療が行えるよう給付金を支給し、該当夫婦を応援することを目的とする。</p>			
事業の内容	<p>体外受精及び顕微授精を行う夫婦に対して、1クールの治療当たり5万円の給付金を年6回を限度に支給する。</p>			
事業費	3,000千円			
事業費の内訳	補助金：3,000千円			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 3,000千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月			
備考				

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ <span style="border: 1px solid black;">ふるさと</span>	担当者	小柳
事業の必要性	<p>妊娠期から子育て世代までの医療に関する不安や悩みを解消するため、妊婦の方や小さな子供がいて外出しにくい方でも、自宅からオンラインで産婦人科医や小児科医等に相談ができる体制を整備する。</p>		
事業の内容	<p>1 夜間相談（平日18時から22時） LINEアプリ又はスマートフォンを使用してビデオ電話、音声通話又はメッセージチャットで産婦人科医、小児科医又は助産師に直接相談できる。（要予約）</p> <p>2 いつでも相談 専用フォームからメッセージで相談内容を質問し、24時間以内に医師等による回答を受け取ることができる。</p> <p>3 日中助産師相談 日中（月・水・金）13時から17時まで、予約なしで助産師とLINEのメッセージチャットで様々な相談ができる。</p> <p>4 コンテンツ配信 受信希望者に医療記事や子育てのポイントを解説するLIVE動画を配信する。</p> <p>5 くすり案内ボット 4～5つの質問に答えると、妊娠中・授乳中の困った症状への薬情報を提供する。</p>		
事業費	5,412千円		
事業費の内訳	電算システム使用料 5,412千円		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>繰入金 4,500千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p>912千円</p>	
実施時期 （工期）	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	相生市防災リーダー育成補助金交付事業	担当課	危機管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	根津
事業の必要性	大規模災害が発生した際に、被害の拡大を防ぐためには公助だけでなく、地域の人々が防災活動に組織的に取り組むことが重要であり、市内における地域防災の担い手となる「防災リーダー」の育成を推進し、地域の防災力の向上を図る。		
事業の内容	兵庫県が実施する「ひょうご防災リーダー講座」等を受講し資格取得するための受講料、教材費、交通費等に対する補助を行う。		
事業費	120千円		
事業費の内訳	補助金 120千円 (防災リーダー育成補助金)		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 120千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ~ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	防災備蓄整備事業	担当課	危機管理課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ふるさと	担当者	根津
事業の必要性	<p>近年、深刻化している災害の激甚化や、近い将来起こるとされる南海トラフ地震等の大規模災害に備えるとともに、令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、避難所における食糧や衛生用品等の備蓄品の充実を図る必要がある。</p>		
事業の内容	<p>備蓄食糧の更新を継続して行いながら、アレルギーや高齢者に配慮した食糧の充実に努める。また、プライベートテントや簡易トイレ等、衛生環境やプライバシーの確保に効果のあるものに重点を置きながら、避難所生活における備蓄品の整備を進める。</p>		
事業費	1,600千円		
事業費の内訳	<p>消耗品費 1,600千円 (食糧品、ブルーシート、プライベートテント、簡易トイレ等)</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 1,600千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ~ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	地域防犯設備設置事業	担当課	危機管理課
区分	新規・継続・定住・ <u>ふるさと</u>	担当者	根津
事業の必要性	市民が安全で安心して生活することができる地域社会の実現を図ることを目的とし、犯罪の起こりにくい環境づくりのため、地域における防犯設備の整備を促進し、犯罪抑止につなげる。		
事業の内容	<p>自治会で設置・管理を行う防犯設備の新設又は取替えに係る費用の一部補助を行う。</p> <p>防犯カメラ（1台目）：設置費用の3分の2以内（1台につき14万円を限度）  防犯カメラ（2台目以降）：設置費用の3分の1以内（1台につき8万円を限度）  防犯灯新設：設置費用の2分の1以内（1台につき5万円を限度）  防犯灯取替え（LED灯）：取替費用の2分の1以内（1台につき1万円を限度）</p>		
事業費	1,600千円		
事業費の内訳	補助金 1,600千円（防犯設備設置補助金）		
財源の内訳	（特定財源） 県補助金 600千円 繰入金 1,000千円	（一般財源） —	
実施時期 （工期）	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	地域乗合タクシー（ふれあい号）事業	担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	志水
事業の必要性	路線バスやタクシー等の地域公共交通を利用しにくく、かつ、自家用車を有していない等により移動に制約がある「交通弱者」の移動手段の確保を図る。		
事業の内容	<p>市が地域に運行を委託し、高齢者等の「交通弱者」を地域のボランティアが市街地まで送迎する。交通空白地等の地域において、モデル事業として実施する。</p> <p>対象地域：矢野地区、若狭野地区          運行ルート：自宅から指定された目的地の定時定路線運行</p>		
事業費	5,000千円		
事業費の内訳	<p>需用費 492千円（印刷製本費外）          委託料 2,508千円（移動支援委託料外）          使用料及び賃借料 2,000千円（車両リース料）</p>		
財源の内訳	<p>（特定財源）</p> <p>諸収入 100千円</p>	<p>（一般財源）</p> <p>4,900千円</p>	
実施時期 （工期）	令和6年7月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	スズメバチ駆除補助事業	担当課	環境課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	井上
事業の必要性	スズメバチの巣の駆除に要する費用の一部を補助することにより、安全な市民生活の確保を図る。		
事業の内容	スズメバチの巣の駆除に要する費用を補助することにより、市民の経済的負担を軽減する。		
事業費	300千円		
事業費の内訳	補助金 300千円 (10千円×30件) 駆除に要する費用の1/2 (10千円を限度)		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 300千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ~ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	シニアスマホ教室事業	担当課	長寿福祉室
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ <span style="border: 1px solid black;">ふるさと</span>	担当者	中村
事業の必要性	<p>高齢者世代の抱えるスマートフォンの使用方法や操作等に係る課題について、講師派遣型の教室を実施し、当該課題の解決を図ることで情報格差をなくし変わりゆく情報化社会においてもシニア世代を誰一人取り残さない地域づくりのためにも必要な事業である。</p>		
事業の内容	<p>市内在住の60歳以上のおおむね約5人程度で構成するグループが希望する場所（市内公民館、自治会館及び通いの場など）へ講師を派遣し、スマホ操作等に係る課題解決を図るための効率的な手法を検討し、実施する。</p>		
事業費	406千円		
事業費の内訳	<p>需用費 131千円 報償費 275千円</p>		
財源の内訳	<p>(特定財源)</p> <p>繰入金 200千円</p>	<p>(一般財源)</p> <p>206千円</p>	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	高齢者補聴器購入助成事業	担当課	長寿福祉室
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ふるさと	担当者	中村
事業の必要性	<p>聴力機能の低下により家族等とコミュニケーションがとりにくい高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を助成することにより、円滑なコミュニケーションの確保及び引きこもりの防止を図り、社会参加を促すとともに認知症予防のためにも必要な事業である。</p>		
事業の内容	<p>2万円を上限に補聴器の購入費用を助成する。                  対象者は65歳以上の者で、医師が必要性を認めた者とする。(中程度の難聴者)                  助成額は補聴器本体1台分の購入費の範囲内で2万円を限度(一人1回限り)とする。                  なお、所得要件は設けない。</p>		
事業費	1,300千円		
事業費の内訳	扶助費 1,300千円		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 1,300千円	(一般財源) -	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ~ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	内水浸水想定区域図作成事業 (下水道事業会計)		担当課	下水道課
区分	新規・継続・定住・ふるさと		担当者	片山
事業の必要性	近年、雨水排水施設の能力を上回るような豪雨が全国的に増加していることから、想定最大規模降雨に対する浸水区域等を示す内水浸水想定区域図を公表することにより、市民の防災意識の向上と水害に対する備えを目的とする。			
事業の内容	水防法の改定により、想定最大規模降雨による雨水が排除できなくなった場合等に浸水が想定される区域、想定される浸水の深さや浸水が継続する時間等を示す内水浸水想定区域図を作成する。 【令和6年度】 内水浸水想定基礎調査（浸水実績・降雨データ・地形等） 【令和7年度】 測 量 【令和8年度】 シミュレーション、浸水想定マップ作成			
事業費	7,000千円			
事業費の内訳	内水浸水想定基礎調査業務 委託料 7,000千円			
財源の内訳	(特定財源) 国補助金 3,500千円 繰入金 3,500千円		(一般財源) —	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ～ 令和7年3月			
備考				

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	あつまれ新婚さん新生活応援金支給事業	担当課	定住促進室
区分	新規・ <u>継続</u> ・ <u>定住</u> ・ふるさと	担当者	堤
事業の必要性	<p>国の結婚新生活支援事業を一部活用しながら、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る支援を実施することで、子育て世代の転入促進・転出抑制を図るとともに、出生率の向上に寄与することを目的とする。</p>		
事業の内容	<p>新婚世帯に対して、婚姻に伴う住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用、リフォーム費用を補助する。上限額は、婚姻日において、夫婦ともに29歳以下の世帯は60万円、夫婦とも又はどちらか一方が39歳以下の世帯は30万円。</p> <p>加えて、継続して相生市内に在住し3年経過した場合に、15万円を追加交付する。</p> <p>なお、所得要件は設けない。 (補助金の最大額は75万円(60万円+15万円)となる。)</p>		
事業費	24,000千円		
事業費の内訳	<p>補助金 24,000千円(あつまれ新婚さん新生活応援金)</p> <p>内訳 夫婦ともに29歳以下 25世帯 夫婦とも又はどちらか一方が39歳以下 30世帯</p>		
財源の内訳	(特定財源) 県補助金 11,800千円	(一般財源) 12,200千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考	<p>あつまれ新婚さん新生活応援金(補助額最大75万円)と住宅取得奨励金(補助額25万円)との併給を可能とすることで、子育て世代を対象に、<u>住宅・定住支援として最大100万円を補助する。</u></p>		

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	住宅取得奨励金交付事業		担当課	定住促進室
区分	新規・ <u>継続</u> ・ <u>定住</u> ・ふるさと		担当者	堤
事業の必要性	若者の定住により地域の活性化を図るため、住宅取得奨励金を交付し、人口の増加と子どもの笑顔があふれるまちづくりを進め、活気ある相生市を築くことを目的とする。			
事業の内容	若い世代の定住促進を図るため、事業期間中に市内に住宅を新築又は購入した申請者が40歳未満の世帯、夫婦もしくは18歳未満の子どもを養育している世帯に対し、奨励金25万円を交付する。			
事業費	11,000千円			
事業費の内訳	補助金 11,000千円（住宅取得奨励金） 内訳 新規交付予定分 250千円×44件			
財源の内訳	（特定財源） —		（一般財源） 11,000千円	
実施時期 （工期）	令和6年4月～令和7年3月			
備考	あつまれ新婚さん新生活応援金（補助額最大75万円）と住宅取得奨励金（補助額25万円）との併給を可能とすることで、子育て世代を対象に、 <u>住宅・定住支援として最大100万円を補助する。</u>			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	あいおい暮らしお試し移住事業	担当課	定住促進室																		
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ <span style="border: 1px solid black;">ふるさと</span>	担当者	堤																		
事業の必要性	<p>相生市への移住を希望する人を対象に、相生市の風土や日常生活を一定期間体験する機会を提供し、移住後も地域に溶け込みやすい環境を整備することで、移住希望者の不安を解消し、ミスマッチの防止と移住の推進を図る。</p>																				
事業の内容	<p>民間住宅等を活用し、移住希望者に相生市での日常生活を体験できる住居を提供する。 また、移住に関する全般的な相談受付、サポートを行う。</p>																				
事業費	3,084千円																				
事業費の内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">需用費</td> <td style="width: 20%;">556千円</td> <td style="width: 50%;">(消耗品費、光熱水費)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>495千円</td> <td>(通信運搬費、クリーニング等)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,620千円</td> <td>(物件管理)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>174千円</td> <td>(家電レンタル等)</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>200千円</td> <td>(家具等購入費)</td> </tr> <tr> <td>負担金及び補助金</td> <td>39千円</td> <td>(自治会費)</td> </tr> </table>			需用費	556千円	(消耗品費、光熱水費)	役務費	495千円	(通信運搬費、クリーニング等)	委託料	1,620千円	(物件管理)	使用料及び賃借料	174千円	(家電レンタル等)	備品購入費	200千円	(家具等購入費)	負担金及び補助金	39千円	(自治会費)
需用費	556千円	(消耗品費、光熱水費)																			
役務費	495千円	(通信運搬費、クリーニング等)																			
委託料	1,620千円	(物件管理)																			
使用料及び賃借料	174千円	(家電レンタル等)																			
備品購入費	200千円	(家具等購入費)																			
負担金及び補助金	39千円	(自治会費)																			
財源の内訳	<p>(特定財源)</p> <p>繰入金 3,000千円</p>	<p>(一般財源)</p> <p>84千円</p>																			
実施時期 (工期)	令和6年4月 ～ 令和7年3月																				
備考																					

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	SDGs啓発事業	担当課	企画広報課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ふるさと	担当者	堤
事業の必要性	SDGsについて一人ひとりが身近なものであると感じ、自分にできることが何かを考えるきっかけをつくることで、相生市全体でSDGsを積極的に推進し、本市の持続可能なまちづくりの実現につなげる。		
事業の内容	<p>昨年度決定した相生市SDGsオリジナルロゴマークを、市の印刷物への印刷及びピンバッジなどのグッズを作成し、SDGs普及啓発に活用する。</p> <p>そのほか、市民を対象としたまちかど出前講座の開催をはじめ、市民や市内企業、市に関わる全ての人とともに、SDGsの達成に向けて取り組むことにより、SDGs推進を図る。</p>		
事業費	665千円		
事業費の内訳	消耗品費 600千円 (PRグッズ作成費) 印刷製本費 65千円 (PRシール作成費)		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 665千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ~ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	フードバンク事業	担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	志水
事業の必要性	市民と共に行うSDGs活動として、食品ロス対策のためフードバンクを設置する。市内の余剰食品を管理し、必要とする団体や個人に無償提供することで、食品ロスの削減を図る。		
事業の内容	個人や店舗等から提供された余剰食品を管理するための貯蔵施設を設置し、必要に応じて、子ども食堂や社会福祉協議会、困窮世帯等に配布する。		
事業費	2,000千円		
事業費の内訳	工事請負費 1,300千円 (貯蔵施設整備工事) 備品購入費 700千円 (冷蔵庫等の事務備品費用)		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 2,000千円	(一般財源) -	
実施時期 (工期)	令和6年5月 ~ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	食品ロス持ち帰りボックス配布事業	担当課	環境課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	塚本
事業の必要性	<p>社会問題となっている食品ロス対策の一環として、持ち帰り用ボックスを設置することで、市民への啓発を行うとともに、食品焼却の際に排出されるCO2の削減にも期待できる。</p>		
事業の内容	<p>市内飲食店に対し、市で作成するエコボックスを設置し、食べ残しを持ち帰ってもらうことで店舗から発生する食品ロスを減らす。</p>		
事業費	649千円		
事業費の内訳	<p>需用費 649千円（印刷製本費） 持ち帰り用ボックス 10,000箱</p>		
財源の内訳	<p>（特定財源） 繰入金 600千円</p>	<p>（一般財源） 49千円</p>	
実施時期 （工期）	令和6年4月 ～ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	バイオマスごみ袋普及事業	担当課	環境課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	大角
事業の必要性	市の脱炭素社会づくりの一環として、可燃ごみ袋の素材を変更することで、ごみ焼却の際に排出されるCO <sub>2</sub> の削減を図る。		
事業の内容	CO <sub>2</sub> の排出量が抑制されるバイオマス素材を配合した指定ごみ袋を作成する。		
事業費	34,799千円		
事業費の内訳	需用費 34,799千円 (消耗品費) 可燃ごみ袋 大 348,000枚 中 495,600枚 小 341,000枚		
財源の内訳	(特定財源) 使用料及び手数料 34,799千円	(一般財源) —	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ～ 令和7年3月		
備考	バイオマスごみ袋作成に伴う素材・デザイン変更による影響額 1,323千円		

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	公式LINE・AIチャットボット事業	担当課	企画広報課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ふるさと	担当者	前田
事業の必要性	<p>スマートフォンやタブレット等で利用できるコミュニケーションアプリであるLINEを活用し、市政情報を効果的・効率的に発信するとともに、行政手続きのオンライン化における「デジタル行政窓口」としての機能をLINEツールに構築することで、本市のデジタル化の円滑な推進を図る。</p> <p>また、問い合わせに24時間、365日対応するAIチャットボットにより、更なる市民サービス向上を図る。</p>		
事業の内容	<p>市LINE公式アカウントにおいて、子育てやイベント、防災等の市政情報を、利用者が受け取りたい情報だけを選択して受信することができる“セグメント機能”により配信する。また、相談窓口等予約機能、アンケート機能、道路の損傷通報機能等により、利用者がLINEで市へアクセスできるサービスを実施する。</p> <p>市民の問い合わせに対して、学習機能を有するAIが回答するAIチャットボットを市HP及び市公式LINEに設置する。</p>		
事業費	2,112千円		
事業費の内訳	<p>使用料及び賃借料</p> <p>LINE拡張ツールシステム使用料 1,056千円</p> <p>AIチャットボットシステム使用料 1,056千円</p>		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 2,112千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	タクシー利用促進事業	担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	志水
事業の必要性	地域公共交通の一つであるタクシーの利用促進を行い、市民の多様な移動手段の確保を図る。		
事業の内容	自動車運転免許の返納者に対し、タクシー利用補助券を交付する。 補助券：500円×6枚		
事業費	425千円		
事業費の内訳	需用費 25千円（印刷製本費） 委託料 400千円（タクシー振興施策事業委託料）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 425千円	
実施時期 （工期）	令和6年7月～令和7年3月		
備考	事業実施時期は令和6年7月からとなるが、交付対象となる対象者は令和6年4月からの免許返納者とする予定。		

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	带状疱疹ワクチン接種助成事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	小柳
事業の必要性	<p>带状疱疹の発症予防と経済的負担の軽減を図るため、ワクチン接種に係る費用の一部を助成することにより、市民の心身の健康を増進させる。</p>		
事業の内容	<p>50歳以上の市民を対象に、医療機関で接種した带状疱疹ワクチン接種費用の1/2を助成する。ただし、生ワクチン（乾燥弱毒生水筒ワクチン）は上限4,000円を1回限りとし、不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン）は上限10,000円を2回限りとする。</p>		
事業費	4,304千円		
事業費の内訳	<p>委託料 4,200千円                  扶助費 104千円</p>		
財源の内訳	(特定財源) 県補助金 512千円	(一般財源) 3,792千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	相生スマートIC（仮称）調査事業	担当課	都市整備課
区分	新規・ <b>継続</b> ・定住・ふるさと	担当者	長治
事業の必要性	<p>相生市には、高速道路インターチェンジが設置されておらず、高速道路へのアクセスが不便な状況となっている。</p> <p>高速道路（山陽自動車道）へのアクセス向上により、住民の利便性の向上及び物流の効率化が図られ、観光面においても市外からの集客が見込めるなど、新たなスマートICの設置が重要である。</p> <p>スマートIC設置に向けて、構造や経済性等を考慮し、道路線形を検討し、関係機関との協議を行っていく。</p>		
事業の内容	<p><b>【相生スマートIC（仮称）道路予備設計業務】</b>          今後の協議において概略設計により決定した路線について現地の地形・位置・高さを測量して地形図を作成し、その結果を用いて施工性・経済性等の総合的な検討を行う。</p> <p><b>【勉強会等】</b>          スマートICの必要性の検討にあたって、関係機関と勉強会等を開催する。</p>		
事業費	41,000千円		
事業費の内訳	<p><b>【相生スマートIC（仮称）道路予備設計業務】</b>          委託料 40,000千円</p> <p><b>【勉強会等】</b>          旅費 1,000千円</p>		
財源の内訳	(特定財源) -	(一般財源) 41,000千円	
実施時期 (工期)	令和6年4月～令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	鳥獣被害防護柵機能強化支援事業（拡充）	担当課	農林水産課
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ふるさと	担当者	勝谷
事業の必要性	<p>有害鳥獣による農作物等の被害防止を図るため、農地への侵入防止目的の防護柵等を設置する場合に、その資材経費の一部を補助することにより、地域農業を支える多様な農業者を支援する。</p> <p>令和6年度より、新たに対象者を拡充する。</p>		
事業の内容	<p>電気柵、ワイヤーメッシュ柵等の有害鳥獣の侵入を防止するために有効であると認められる資材経費（20,000円以上）の一部を補助する。</p> <p>交付対象者を拡充し、現在の農会又は自治会等に、担い手及び個人農業者を加える。</p> <p>1 対象者：農会又は自治会等 内 容：集落を囲むために要する資材経費の85% 限度額：200,000円</p> <p>2 対象者：農業の担い手 内 容：担い手が所有若しくは管理する農地に対して要する資材経費の85% 限度額：100,000円</p> <p>3 対象者：市内で農業を営む個人農業者 内 容：農家が所有若しくは管理する農地に対して要する資材経費の50% 限度額：30,000円</p>		
事業費	2,166千円		
事業費の内訳	負担金補助及び交付金（補助金）	2,166千円	
	1 農会又は自治会等	1,266千円	
	2 農業の担い手	300千円	
	3 市内で農業を営む個人農業者	600千円	
財源の内訳	（特定財源）	（一般財源）	
	—	2,166千円	
実施時期（工期）	令和6年4月 ～ 令和7年3月		
備考			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	羅漢の里施設整備事業	担当課	農林水産課																
区分	新規・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span> ・定住・ <span style="border: 1px solid black;">ふるさと</span>	担当者	松下																
事業の必要性	<p>羅漢の里開設当初に設置され、老朽化した遊具を更新するとともに、常設のドックランを整備し、羅漢の里の魅力を向上させ、地域住民の憩いと安らぎの場の提供のほか、羅漢の里の各施設の利用者の増加を図る。</p>																		
事業の内容	<p>羅漢の里内の子どもの森にある既設遊具を撤去し、複合遊具を新設するとともに、常設のドックランを整備するなど、子どもの森周辺のリニューアルを行う。</p>																		
事業費	25,000千円																		
事業費の内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">複合遊具設置工事</td> <td style="width: 10%;">1式</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">25,000千円</td> </tr> <tr> <td>複合遊具設置</td> <td>1基</td> <td></td> <td style="text-align: right;">23,000千円</td> </tr> <tr> <td>既設遊具撤去</td> <td>1式</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td>ドックラン整備</td> <td>1式</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,000千円</td> </tr> </table>			複合遊具設置工事	1式		25,000千円	複合遊具設置	1基		23,000千円	既設遊具撤去	1式		1,000千円	ドックラン整備	1式		1,000千円
複合遊具設置工事	1式		25,000千円																
複合遊具設置	1基		23,000千円																
既設遊具撤去	1式		1,000千円																
ドックラン整備	1式		1,000千円																
財源の内訳	<p>(特定財源)</p> <p>繰入金 25,000千円</p>	<p>(一般財源)</p> <p style="text-align: center;">—</p>																	
実施時期 (工期)	令和6年4月 ～ 令和7年3月																		
備考																			

令和6年度当初予算特色ある事業

事業名	パラスポーツフェスAIOI事業	担当課	体育振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと	担当者	片山
事業の必要性	障害のある人とない人が一緒にパラスポーツを体験することにより、障害のない人はパラスポーツへの理解を深め、障害のある人はスポーツを通じた社会参加の促進を図る。		
事業の内容	ボッチャ、フライングディスク、パラ卓球などのパラスポーツ体験会を行う。 パラスポーツ選手を招き、トップアスリートのプレイを間近で体験し、また交流を図ることで、パラスポーツの普及啓発を行う。		
事業費	200千円		
事業費の内訳	報償費 20千円（講師謝礼） 20千円（在宅看護師謝礼） 60千円（参加賞） 需用費 100千円（消耗品費外）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 200千円	
実施時期 （工期）	令和6年9月～令和6年11月		
備考			